

教科等のねらい

- ・製品作り等の活動を通して、作業に対する基本的な知識、技能、態度を身に付けるとともに、働く意欲や最後まで責任をもって取り組む態度を育む。
- ・自分の課題がわかり、課題を意識して活動に取り組む。

主な指導内容

- ・作業に必要な基本的な態度（挨拶、返事、報告、質問、身だしなみ、等）
- ・安全で正しい道具の使い方、道具の管理（準備、片付け、清掃の仕方）
- ・紙製品や布製品作りを通しての質と量を意識した作業への取組（知識、技能、態度）
- ・製品販売での接客態度、会計処理、ラッピング等

評価方法

- ・評価の4観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を設定し、複数の職員による観察から客観的に評価する。
- ・キャリア教育を基にした観点別評価シートを作成し、反省会において自己評価、教師評価を行い、目標の達成度の確認や課題の意識化を促す。
- ・キャリア教育を基にした職業技能チェック表を作成し、各学期の終わりに自己評価、教師評価を行い、成果と課題を明確にすることで次学期の活動に繋げる。
- ・製品の作成手順や作業態度など、校内検定等の実技で評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4月	オリエンテーション  仕事に慣れよう	◎作業学習の意味や身に付ける力、目指す姿の確認 ・各作業の活動内容の理解 ・作業内容決定、目標設定 ・準備、片付け、清掃までの一連の流れ ◎任せられた作業への取組（一定時間集中して取り組む）	・自分の仕事内容、役割分担を把握し、作業を覚える。 ・物の置き場を覚え、準備、片付け、清掃までを正しく行う。 ・決められた時間、集中して作業を行う。	①④
5月 6月 7月	目標を確認し、意欲的に仕事に取り組もう  学習の振り返りをしよう	◎基本的な言葉 ・目標の確認  ◎各作業グループでの製品作り（各工程の技術、丁寧な作業、質と量の意識） □紙製品…紙すき、タグ、ラベルなど □食品… コーヒーパック包装など  ◎安全で正しい道具の使い方 ◎道具の管理  ◎1学期の学習の振り返り、自己評価教師評価を行う。 ・生徒同士の相互評価	・挨拶、返事、報告、質問等に必要な言葉を繰り返し練習する。 ・自分の目標を教師と確認する。 ・任された工程に責任を持って取り組む。  ・準備、作業、片付け、清掃までを丁寧にやり遂げる。  ・目標に対する自己評価と教師評価を行い、成果と課題を明らかにする。 ・生徒同士、お互いに成果を確認する。	①③  ③④  ②

9月	製品の質を向上させよう  ※技能検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな目標立て</li> <li>◎集中して取り組む態度</li> <li>◎より質の高い製品を、目指した取組</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭に向けて、より質の高い製品を作るにはどうしたらよいか確認しながら作業に取り組む。</li> <li>・検定を受け、結果から自分の成果と課題を確認する。</li> </ul>	②③
10月 11月	文化祭に向けて準備をしよう  文化祭で製品を販売しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売を意識した製品づくり</li> <li>◎接客態度、会計処理、ラッピングの仕方等</li> <li>・文化祭での販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭に向けて、購入者を意識して製品作りをする。</li> <li>・文化祭での販売準備（ポスター、値札付け、ラッピング）、販売練習（接客態度、言葉遣い）をする。</li> </ul>	①③  ①②
12月	作業技術を高めよう  学習の振り返りをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎納期を意識した製品作り</li> <li>・より高い技術の習得</li> <li>◎2学期の学習を振り返り、自己評価、教師評価を行う。</li> <li>・生徒同士の相互評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注製品を納期までに仕上げ、相手に納める。</li> <li>・目標に対する自己評価と教師評価を行い、成果と課題を明らかにする。</li> <li>・生徒同士、お互いに成果を確認する。</li> </ul>	②③  ②
1月 2月	作業の幅を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新しい作業種への理解と技能（受託作業など）</li> <li>・新たな目標立て</li> <li>・質と量を意識した取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの受託作業など新しい作業に取り組む。</li> <li>・作業の工程を覚え、納品の期限までに作り上げる。</li> <li>・質と量を意識しながら作業に取り組む。</li> </ul>	①④  ③
3月	1年間の活動を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎チェック表の活用</li> <li>自己評価、教師評価、成果と課題の確認</li> <li>・生徒同士の相互評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表を活用しながら、1年間の振り返りをする。</li> </ul>	②

## 【職業技能：清掃】 シラバス

時数 4 時間／週（1・2 学期）2 時間（3 学期）

### 教科等のねらい

- ・働く意欲を培い、将来の職業生活や社会生活に必要な知識、技能、態度の習得を図る。
- ・清掃に必要な基本的な技術、態度を身に付ける。

### 主な指導内容

- ・床清掃（自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロスモップ）
- ・窓清掃（スクイジー）
- ・トイレ清掃
- ・演習：地域貢献活動（川西総合体育館清掃、老齢福祉施設清掃等）

### 評価方法

- ・評価の4観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を設定し、複数の職員による観察から客観的に評価する。
- ・キャリア教育を基にした観点別評価シートを作成し、反省会において自己評価、教師評価を行い、目標の達成度の確認や課題の意識化を促す。
- ・キャリア教育を基にした職業技能チェック表を作成し、各学期の終わりに自己評価、教師評価を行い、成果と課題を明確にすることで次学期の活動に繋げる。
- ・清掃種毎のまとめとして、学習した内容の定着度を図るため、校内技能検定を実施する。

### 指導計画（2・3年生）

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4月	・掃除の基礎、基本を再確認しよう	◎自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロスモップなどの基本的な使い方	・自在ぼうきやモップなどを使った床清掃の正しい手順を覚え、丁寧に迅速に清掃する練習をする。	③④
5月 6月	・手際よく、隅々まで丁寧な作業を行おう	・目標範囲や目標時間を設定した廊下の掃き清掃 拭き清掃	・作業能率を意識して、隅々まで綺麗に清掃する。	①③
6月	・清掃を通じて地域に貢献しよう	◎演習：川西総合体育館での清掃活動	・窓サッシのレールの汚れ落としや非常口、非常階段の清掃を協力して丁寧に行う。	①②
7月	・職業技能検定で学習の成果を発揮しよう	◎自在ぼうき、テーブル拭き検定に向けた技能	・職業技能検定に向けた練習と技能の習得をする。	③
9月	・トイレ、窓清掃の基礎・基本を学ぼう	◎トイレ清掃に必要な道具の使い方、便器、床、壁や洗面台の磨き方 ◎窓清掃に必要な道具の使い方、窓の磨き方	・トイレ清掃や窓清掃に必要な道具の使い方を覚え、正しい手順で清掃を行う練習をする。	③④
10月 11月	・清掃を通じて地域に貢献しよう	◎演習：あかね園での清掃活動 ◎演習：バス停での清掃活動	・施設内の清掃を協力して丁寧に行う。 ・バス停を協力して綺麗に清掃する。	①③
12月	・手際よく、隅々まで丁寧な作業を行おう	・目標範囲や目標時間を設定した窓清掃、トイレ清掃	・作業能率を高め、隅々まで綺麗に清掃する。	①③

1月	・ポリッシャーの基礎、基本を身に付け、校内をきれいにしよう	・清掃場所や汚れを考慮したポリッシャーの操作	・正しい手順を覚え、安全に注意してポリッシャーを操作する練習を行う。 ・ポリッシャーを使用して、廊下や音楽室の清掃を行う。	③④
2月	・学習した技能で様々な清掃に取り組もう	・床清掃、トイレ清掃、教室清掃 ・自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、スクイジー、ダスタークロスモップなどの正しい使い方	・道具を正しく使い、作業手順に沿って、丁寧、迅速に清掃をする。	①②③
3月	・協力して体育館掃除を行おう	◎清掃技術一般の演習	・体育館、小体育館の清掃（床、窓、トイレ掃除）を協力して隅々まで丁寧に行う。	①②③

### 指導計画（1年生）

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
前期	・清掃の基礎を学ぼう	◎自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、スクイジーなどの使い方 ◎床の掃き清掃・拭き清掃、窓清掃	・正しい手順を覚え、自在ぼうきやモップなどを使い、床清掃や窓清掃を丁寧に行う練習をする。	
中期	・手際よく隅々まで丁寧な清掃を行おう	・目標範囲や目標時間を設定した丁寧な清掃	・作業能率を意識して、隅々まで綺麗に清掃を行う練習をする。	
後期	・実技検定で学習の成果を発揮しよう  ・清掃を通じ、身近な人に奉仕する気持ちを養おう	◎掃き掃除、拭き掃除、窓清掃の技能  ◎清掃技術一般の演習	・学習して習得した清掃技能を発揮する。 ・成果と課題を確認し、今後の活動に繋げる。  ・川西総合体育館や体育館、ギャラリー等の清掃を協力して、隅々まで丁寧に行う。	

## 【職業技能：接客】 シラバス

時数 2 時間 / 週 (1・2 学期)

### 教科等のねらい

- ・ 社会生活に必要な「基本的な対人スキル」を身に付ける。
- ・ 文化祭での来賓接待や接客場面を想定し、接客に関する基礎的な知識、技能を身に付け、実践で生かすことができる。

### 主な指導内容

- ・ 接客（基礎）、湯茶、お客様対応のグループに分かれ、接客の練習
- ・ 文化祭での来賓接待や接客場面に向けて実践練習

### 評価方法

- ・ 観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を設定し、複数職員  
の観察から評価する。
- ・ 接客（基礎）、湯茶、お客様対応において、一連の流れを確認するための校内検定を行う。
- ・ 実際にお客様をお迎えし、学習の成果を確認する。

### 指導計画

月	単元名	指導内容 (◎重点)	主な学習活動	評価の観点
4 月	接客とは！ ・ 正しい身だし なみ ・ 正しい挨拶と 言葉づかい	・ オリエンテーション ・ 接客における要点 ◎身だしなみ、表情の点検 ・ 基本用語の活用練習 ◎正しい姿勢や振舞い方 の練習	・ 接客の仕事について話し合 う。 ・ 身だしなみの大切さを理解し 点検を行う。 ・ 基本的な用語の場面に応じた 使い方を練習する。	①②    ④
5 月 6 月 7 月	接客スキルトレ ーニング ・ 接客（基礎） ・ 湯茶	・ 接客の基礎・基本 ◎接客（基礎）   ◎湯茶	・ 基本的な接客の正しい仕方を 繰り返し練習する。 （①案内②水出し③注文受け ④飲み物受け⑤飲み物提供⑥ 見送り⑦片付け） ・ 検定を行い、達成度を評価す る。 ・ 基本的なキッチン仕事を繰 り返し練習する。 （①水出し・注文受け②飲み物 作り③飲み物提供④茶器の準 備・片付け） ・ 検定を行い、達成度を評価す る。	②③       ③④
8 月 9 月	接客スキルトレ ーニング ・ お客様対応	・ 接客の基礎・基本 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2・3年生</span> ◎お客様対応   <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1年生</span> ◎湯茶	・ 場面に応じたお客様への対応 を繰り返し練習する。 ・ 検定を行い、達成度を評価す る。  ・ 基本的なキッチン仕事を繰 り返し練習する。 （①水出し・注文受け②飲み物	①③       ①③

			作り③飲み物提供④茶器の準備・片付け) ・検定を行い、達成度を評価する。	
10月	文化祭や会議で来校者にお茶を提供しよう	◎接客サービスの練習  ◎文化祭での実践  ◎コミセンでの実践	・会議や来賓に対する接遇をする上での留意点を学ぶ。 ・正しい接客の仕方を繰り返し練習する。 ・文化祭や会議の接客場면을イメージし、担当する役割の動きを繰り返し練習する。 ・文化祭での実践（来賓接待を行う。） ・コミセンへ出向き、PTA会議の参加者へ湯茶を提供する。	④ ②③
11月 12月	リバーウエストをオープンしよう！	◎接客サービスの練習  ◎作業納会での実践	・正しい接客の仕方を繰り返し練習する。 ・接客場면을イメージし、担当する役割の動きを繰り返し練習する。 ・各分担の動きを確認し、繁忙時の対応を学習する。 ・校内で、湯茶の提供場面を設定し、実践する。 ・クラフト班の生徒から接客を受けての感想、評価を記入してもらい、達成度を評価する。 ・サービス班担当以外の職員が、一連の流れを見て達成度を評価する。	②③

## 【職業生活】 シラバス

時数 2 時間 / 週

### 教科等のねらい

- ・キャリア教育の視点に立ちながら、「職業生活」への意欲を高めるとともに、卒業後の「社会的自立」に向けて必要な知識や態度を育てる。

### 主な指導内容

- ・職業観及び勤労観の醸成、自己理解、制度等の理解
- ・職場実習（ふれあいジョブ・現場実習）の事前事後指導（活動内容や通勤方法、実習の取り組み方等の確認、実習の成果と課題、その後の取り組み方）
- ・基本的なビジネスマナーや面接の受け方

### 評価方法

- ・観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を設定し、複数の職員による観察から客観的に評価する。
- ・実習日誌や実習先からの評価、巡回職員の見取り等を基に、実習の成果と課題を整理する。
- ・ビジネスマナー・面接指導については、キャリア教育を基にした自己評価カードで自己評価、教師評価を行い、技術の習得具合や授業態度等を振り返り、評価する。
- ・ビジネスマナー・面接指導については、単元のまとめとして学習内容の定着度を図るための校内検定（実技検査）を実施する。

### 指導計画

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4月	・ガイダンス	・学習内容、スケジュール等の確認	・プリント、プレゼンテーション等で確認する。	①
5月	・ビジネスマナー（週1時間）	◎身だしなみ ◎基本姿勢（立位）と礼の仕方 ◎挨拶、返事、言葉遣い ・自己紹介 ・実践練習	・身だしなみのチェック項目を確認し、自己点検ができるようにする。 ・基本の立ち姿勢と会釈・普通礼・敬礼について知り、繰り返し練習する。 ・「語先後礼」について知り、繰り返し練習する。 ・入退室と簡単な自己紹介について知り、繰り返し練習する。 *ビジネスマナー検定で、定着度を確認する。 *必要に応じて、外部講師を招き、指導を受ける。	③④
6月 ～ 12月	・職場実習（ふれあいジョブ、現場実習）の事前学習と振り返り（週1時間）	◎目標の設定 ・日程、持ち物等の確認 ◎成果と課題の確認 ◎今後の目標の設定	・実習日誌を使って、職場実習の日程や内容、目標等を確認する。 ・実習日誌や実習先からの評価、巡回職員の見取り等を基に、職場実習を振り返り、自己の成果や課題、今後の目標等を確認する。	② ①②

1 月	・面接 (週 1 時間)	・面接の基本的な流れ ・望ましい態度や言葉遣い ◎自己PR ◎質問への適切な受け答え ・実践練習	・面接について、基本的な流れや態度について知る。 ・自己PRや基本的な質問事項に対する答えを考える。 ・実践練習に繰り返し取り組む。 *面接検定で、定着度を確認する。 *必要に応じて、外部講師を招き、指導を受ける。	②③④
2 月				
3 月				
通 年	・進路ノート (週 1 時間)	◎勤労観、職業観の醸成 ◎職業種の理解 ◎自己の理解 (特性・適性) ・進路決定の進め方 ◎将来設計 ・福祉制度の理解	・進路ノート(テキスト)を使って、学年・学級ごとに座学を中心に行う。	②④

## 【職業技能：介護】 シラバス

時数 6 時間／週（3 学期のみ）

### 教科等のねらい

・介護に関する基礎的な知識・技能を身に付け、現場で実践することができる。

### 主な指導内容

・整髪      ・消毒      ・ベットメイキング      ・お茶出し

### 評価方法

・観点（①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解）を設定し、複数職員の観察から評価する。  
 ・単元の終段で学習した内容が実際にできるか実技検査の機会を設定し、達成度を評価する。

### 指導計画

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
1 月 2 月 3 月	・介護とは！ ・オリエンテーション	◎介護を行う上での心構え ・オリエンテーション ・介護における要点 ・清潔、身だしなみ、表情の点検 ・基本用語の理解 ・声掛けや身体接触時の要点	・外部講師による介護マナーの講演を行う。 ・身だしなみ等の点検表を使って毎時間点検する。	①④
	《整髪・お茶出し》	◎整髪・お茶出し ・整髪をするときの要点 ・お茶出しをする時の要点 ・提供時のマナー	・人形を使って整髪の体験を行う。 ・お茶の種類や量、とろみの付け具合を指定して、お茶出しの練習をする。 ・校内検定を実施し、達成度を確認する。	①③④
	《消毒・ベットメイキング》	◎消毒・ベットメイキング ・薬品の取り扱いと注意事項 ・消毒の要点、注意事項 ・リネンの扱い、交換の目的、交換の仕方	・消毒液の作り方と消毒をする場所を学び、実際に消毒を行う。 ・シーツと枕カバーの交換を練習する。 ・校内検定を実施し、達成度を確認する。	①③④